

授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	富津市立富津中学校
-----	----------	-----	-----------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○令和5年度に引き続き、本校生徒の数学の平均正答率は全国と比べて下回っている。無解答率については、短答式・記述式の問題では全国に比べ高い傾向が見られる。したがって、自ら思考したことを文章や数式として表す表現力に課題があると考えられる。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 自ら考えたことを表現する機会や他者の考えを知る機会の設定
- 自分自身の言葉を用いて表現することを日常的に行う

3. 具体的な実践

- 授業内で話し合い活動を意図的に設定し、自ら考えたことを表現したり、他者の考えを知ったりする機会を設け、思考力や表現力の向上を目指す。
- 自己評価シートを用いて、その日の授業の内容をまとめることで、基本的な知識技能の定着を図るとともに、表現力の向上を目指す。

4. 成果

- 話し合い活動の設定では、考えを思いついた生徒が積極的に周りの生徒に説明をする姿が見られ、自らの考えを表現する機会となっていた。また、今まで問題解決の方法を思いつくことができなかった生徒も、それによって自分自身で思いつくことができるようになっており、思考力の向上につながったと考えられる。
- 自己評価シートによるまとめでは、回数を重ねるごとに自らの言葉でまとめを書くことができる生徒が増えており、表現力の向上につながっていると考えられる。

◆担当指導主事から

- 話し合い活動、振り返り活動ともに、令和5年度の実践をもとに、改善した取組を令和6年度に行った。継続した研究により、思考力・表現力が向上しつつある。